

第74回県総体に関する確認・申し合わせ事項（県中体連理事会）

1. 無観客での開催について

(1) 卒業アルバム撮影カメラマン、学校長（教員）の会場巡回

- ①「大会関係者」として入場を認める。ただし、感染防止対策として2週間の体温・体調チェックの実施と申請書を会場ごとに提出することを条件とする。
- ②学校長・教員の入場については、感染対策を十分におこなった上での大会運営であることを理解していただき、少数での入場をお願いしたい。

(2) 保護者の入場

屋外競技や会場の規模により、せめて3年生の保護者が入場できないかどうかの検討を重ね、6月10日に県教委保健体育課と再度打合せ会をおこなったが、以下の理由により保護者の入場を認めることができず、無観客での実施とする。

- ①一定期間に多くの人数が移動をして、各会場に集まったの大会となる。感染リスクを高めないためにも会場への入場も最小限にしたい。
- ②コロナ対策だけでなく熱中症対策にも配慮が必要である。保護者の入場や管理を大会役員の業務に加えることは負担が大きい。
- ③万が一、クラスター等が発生した場合に保護者の観戦の対応に不備が指摘された場合には、事後の県内のイベント（中体連・スポーツ大会に限らず）に大きな影響が及ぶことが考えられる。
- ④当初、県総体の開催条件は「無観客」であることが前提であった。保護者の入場は心情的には認めたいものの、今回はコロナ対策を万全にすること、リスクを抑えることを優先する。

(3) 登録選手以外の部員の入場

原則として登録選手以外の部員については、感染防止対策の2週間の体温・体調チェックの実施と申請書を提出することで入場を認める。ただし、会場規模等の関係で次の競技は部員の入場も制限する。

バスケットボール	登録選手以外では3年生のみ入場可。 登録選手以外の1・2年生は会場には入れない。
卓球	当日の出場選手のみ入場可。
バドミントン	参加資格が3年生のみのため3年生のみ入場可。 1・2年生は部員であっても入場を認めない。
テニス	当日出場する選手のみ入場可。出場しない部員の入場は禁止する。

(4) 警備員の配備

- ①会場入口に警備員を配置することは選手・大会役員と一般の方との区別が（ID等がない限り）難しい。
- ②警備員を会場入口に配置する場合には、1会場に2名（交代含）が必要となる。
希望が予想される全会場に配置した場合には、費用が大きすぎて警備員を配置することはできない。
- ③警備員については昨年までと同様に、混雑が予想される会場の交通整理を目的として配置する。

(5) ビデオ撮影

- ①個人競技で選手が自分の試合を撮影するためにビデオカメラを設置することが認められている競技もあることから、参加部員が撮影をすることについては今まで同様に認める。
- ②教員が学校関係者として撮影することや、代表保護者1名（2週間の感染防止対策済）が競技役員の指示のもとで指定場所にビデオカメラを設置、設置後は競技場外へ出る、試合後に競技役員のもと再入場して回収することについては、実施可能な競技は認める。方法については競技専門部から連絡をする。

2. 大会参加が複数日になった場合の申請書の提出について

申請書の提出は初日のみとする。2日目以降は体温・体調チェック表に記録し、クリアできた者だけが会場に入場できる。

チームの大会参加が週をまたぐ場合（バスケットボール・サッカー・軟式野球）は再度申請書を提出すること。

3. 消毒・石鹸・ペーパータオル等、コロナ対策準備用品について

参加校に消毒液を持参してもらうことを願います。

会場の出入口と本部用の消毒液は中体連で準備をする。

石鹸（ポンプ型が好ましい）・ペーパータオル等のコロナ対策用品の準備費（競技別）より、大会当日までに競技部で購入の準備をお願いする。